

主な出来事

【内政】

- UN臨時党大会の開催
- 上下院補欠選挙の実施
- ボンゴ大統領による両院合同会議における演説
- 国民議会通常国会の閉会式の開催
- 上院通常国会の閉会式の開催

【外政】

- NDIによる当地ミッション：大統領選挙
- ボンゴ大統領によるコンゴ（共）訪問

【経済】

- ボンゴ大統領によるセメント工場開所式の出席
- ガボンによるOPEC再加盟
- ボンゴ大統領によるオラム・パーム・オイル工場開所式の出席
- マブミンヌ・プロジェクト説明会の開催：レア・アース鉱床開発

【内政】

1 インズバ・ンダマH&M候補による選挙前キャンペーンの開始

ウォル・ントウム県での選挙キャンペーンに続き、1日から、インズバ・ンダマ相続と近代性（H&M）候補は、エスチュエール州において選挙キャンペーンを開始した。（1日付GR）

2 ボンゴ大統領によるリーブルビル大学病院センター新病棟の開所式への出席

5月31日、アリ・ボンゴ大統領は、リーブルビル大学病院センター新病棟の開所式に出席した。同病院には、X線レントゲン、内視鏡検査、外科、集中治療室等の医療環境が整備されており、拡張工事により病床数は420から696に増加した。（2日付UN）

3 「積極的な証人」運動の結成

1日、労働組合、市民社会、野党系学生団体は「積極的な証人（les Temoins actifs）」運動を結成した。同運動は、本年に実施される大統領選挙及び国民議会選挙において、他国からの支援を受けつつ、投票所に9,000名の監視団の配置を検討しているほか、アリ・ボンゴ大統領に対してDNA鑑定を求め、出生証明を要求している。（2日付UN, 2日付AFP）

4 UN臨時党大会の開催

5日、国民連合（UN）臨時党大会が開催され、3名の候補者の中から、カシミール・オイエ・ンバUN副代表が約88%の支持を得て、次期大統領選挙における党候補として選

出された。(6日付GR)

5 上下院補欠選挙の実施

18日、上下院補欠選挙が実施され、上院1議席を与党ガボン民主党(PDG)が、下院13議席のうちPDGが9議席、無所属候補が2議席、新しい共和国のための人民連合(UPNR)及び国家再生のための同盟(ARENA)がそれぞれ1議席を獲得した。(21日付UN)

6 ピエール・クラヴェ・マガンガ・ムサブPSD代表による立候補表明

27日、社会民主党(PSD)は臨時党大会を開催し、次期大統領選挙に向けてピエール・クラヴェ・マガンガ・ムサブ代表を正式に党候補として擁立する旨決定した。(28日付UN)

7 ンバ・アベソレRPG代表による立候補表明

ガボンのための結集党(RPG, 与党系)は、次期大統領選挙に向けてアリ・ボンゴ大統領の支持を取り下げ、ンバ・アベソレ代表を正式に党候補として擁立する旨決定した。(27日付UN)

8 PDSによるボンゴ大統領支持

開発・社会的連帯党(PDS)は、次期大統領選挙に向けてアリ・ボンゴ大統領を支持する旨決定した。

9 レオン・ポール・ングラキアMPR代表による立候補表明

レオン・ポール・ングラキアMPR(共和・愛国運動)代表(アリ・ボンゴ大統領の従兄弟)は、次期大統領選挙に立候補する旨決定した。(27日付UN)

10 ボンゴ大統領による両院合同会議における演説

28日、アリ・ボンゴ大統領は両院合同会議にて演説を行い、これまでの経済・社会政策を紹介し総決算を行ったうえで、同国の発展に向けて政策推進の必要性を訴えた。(29日付UN)

11 国民議会通常国会の閉会式の開催

30日、国民議会の通常国会閉会式が開催され、オヌビエ議長は、37の法案が提出され、そのうち31の法案が採択されたとして今期の議会活動を評価した。(7月1日付UN)

12 上院通常国会の閉会式の開催

30日、上院の通常議会閉会式が開催され、オブソン上院議長は、今期の議会活動について報告を行ったほか、中国人民政治協商会議全国委員会主席の当地訪問、第134回列国議会同盟(IPU)総会への出席など議会の外交活動についても紹介した。また同議長は、8月末の大統領選挙の平和的な実施を呼びかけた。(7月1日付UN)

13 UPGによるボンゴ大統領支持

ガボン国民連合(UPG)は、通常党大会にて、次期大統領選挙においてアリ・ボンゴ大統領を支持する旨決定した。(7月1日付UN)

【外政】

1 ボンゴ大統領によるサントメ・プリンシペ大統領特使との会談

1日、アリ・ボンゴ大統領は、ダ・コスタ・サントメ・プリンシペ大統領特使と会談し、二国間関係に係る意見交換を行った。(1日付UN)

2 ボンゴ大統領によるCEMAC代表との会談

1日、アリ・ボンゴ大統領は、中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)代表と会談し、EUとの経済連携協定交渉の進捗状況について協議した。(1日付UN)

3 NDIによる当地ミッション：大統領選挙

5月29-6月3日、米シンクタンク国立民主主義研究所(NDI)は当地を訪問し、透明性・信頼性のある大統領選挙の平和的な実施に向けた支援の可能性について議論した。同ミッションは、内務大臣、独立常設選挙委員会(CENAP)、国家通信委員会(CNC)、憲法裁判所関係者等と協議したほか、共和国調停官、与野党関係者、市民社会等と意見交換を行った。(4日付UN、6日付GR)

4 ボンゴ大統領によるコンゴ(共)訪問

4-5日、アリ・ボンゴ大統領は、サスンゲソ・コンゴ(共)大統領の出生地オヨを訪問し、中部アフリカの平和・安定について協議したほか、ボコ・ハラム、油価下落による経済危機、経済の多角化等について意見交換を行った。(6日付UN)

【経済】

1 ボンゴ大統領によるモアンダ金属・鉱業学校の開所式出席

6日、アリ・ボンゴ大統領は、トロヴォアダ・サントメ・プリンシペ首相及び仏エラメットグループ、コミログ関係者の臨席のもと、オート・オグエ県のモアンダ金属・鉱業学校の開所式に出席した。同校は同国のエンジニアのほかアフリカ大陸の鉱業発展の需要に応えるため、建設された。(7日付UN)

2 ボンゴ大統領によるセメント工場開所式の出席

9日、アリ・ボンゴ大統領は、オウエンドにおいてモロッコ・アドハ・グループ傘下のアフリカ・セメント会社(Gimaf)のセメント製造工場の開所式に出席した。同工場への投資額は230億CFAフランにのぼり、50万から100万トンのセメント製造が可能となる。(10日付UN)

3 ガボンによるOPEC再加盟

2日、石油輸出国機構(OPEC)本部はガボンのOPEC再加盟を承認し、7月1日から同国が正式に加盟国となる旨発表した。(4日付UN)

4 原木の輸出禁止措置による経済効果：世銀報告書

3日、世銀は、原木の輸出禁止措置から約6年が経過したとして、同措置による経済効果に係る調査報告書を発表した。同報告書によれば、右措置は森林産業の開発、国家経済の多角化、雇用創出、国家歳入の増加に貢献している。(4日付GR)

5 コミログ社による2015年決算の発表

仏コミログ社は2015年決算を発表し、前年に比べ10%減の3,080億CFAフラ

ンの売り上げを記録した旨発表した。市価の低迷により、同社の損失額は2014年の270億CFAフランから2015年には430億CFAフランに拡大した。(9日付UN)

6 ボンゴ大統領によるオラム・パーム・オイル工場開所式の出席

16日、アリ・ボンゴ大統領は、ンブンバ・ンゼンギ農業・農業団体大臣、ングニエ県知事及びオラム社長の出席の下、ングニエ県のオラム・パーム・オイル工場開所式に出席した。(17日付UN)

7 マブミンヌ・プロジェクト説明会の開催：レア・アース鉱床開発

21日、リーブルビルにおいて、ニオビウム及びレア・アースの開発プロジェクトであるマブミンヌ (Maboumine) ・プロジェクトに関する説明会が鉱山・産業省の主催で開催され、ムサヴ鉱山・産業大臣、同省事務次官、仏 Eramet 当地代表他が出席した。

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース)